

令和3年度第2回高知県子どもの環境づくり推進委員会 会議の概要

1 日程及び議題

日時：令和3年9月25日（土） 14:00～16:00

場所：高知県庁本庁舎2階 第二応接室

議題：（1）子ども条例フォーラムの開催内容について
（2）その他

2 会議の概要（委員からの主な意見）

事務局説明：（1）子ども条例フォーラムの開催内容について
資 料：【資料1】

●事業者から子ども条例フォーラムの概要を説明

<講師について>

- よく高知駅でPRをしていたので、高知駅を使っている子どもたちには、認知度があると思う。（委員）
- 場の空気を盛り上げて、みんなが話しやすい環境を作ってくれると思う。（委員）
- 帯屋町で活動をしており、友人も出演したことがある。話してる様子を Youtube で見ると、とても明るくて楽しそうだった。（委員）
- Youtuber として活躍していて事前宣伝に期待できる。（委員）

<チラシ、ポスターについて>

- ディスカッションに参加するに当たって、去年の様子を見ることができる QR コードが貼られるというのは、すごく良いと思う。（委員）
- 新型コロナウイルス感染の予防のためご協力お願いしますという注意書きがとても良いと思う。参加者的には、新型コロナウイルスの影響で、参加するためらうを人もいるかもしれないので、会場でちゃんと消毒していると、安心して行けると思う。（委員）
- ポスターにアイスブレイクについて記載した方が良いと思う。（委員）
- ポスターの「今だからこそ語りたいことがある」という文字をもっとわかりやすくしたら良いと思う。（委員）

○ポスターの写真については、来年度から県内の学校の校則と照らし合わせて適切か確認してほしい。
(委員)

<アイスブレイクについて>

○昨年はアイスブレイクの時間が短く、距離も遠かったので距離感や緊張感があり、自分の意見が出せないグループがあった。今年は距離も近く、企画もあるので、前回とはガラッと変わると思う。
(委員)

○自己紹介が終わった後に、一人一人質問を投げるようにすればもっと打ち解けると思う。(委員)

<ディスカッションテーマについて>

○ディスカッションテーマと専門家によって魅力が分散しないようにしてほしい。(委員)

「今、考える地方活性化」

○「地方活性化」という言葉は心理的距離があるので、高校生目線から何かを考えるという雰囲気を出すような言葉にしてほしい。(委員)

「若者が感じる選挙とは」

○なかなかイメージが湧きにくく、集まる人数も少なくなるんじゃないかと思う。(委員)

「コロナ感染者への人権配慮」

○会話のテーマとして、コロナを出さないようにしようという雰囲気があるので、こういう場じゃないと話せないと思う。(委員)

○高校生の皆さんはいろいろなことで制約を受けてストレスを感じていると思うので、そういうことを腹の底から吐き出してもらい、それに対して自分たちがどうやって考えていく、これから新しいコロナと向き合った生活を送っていくために、自分たちが考えないといけないことが何かということをテーマにしてもいいのではないかと思う。学校の行事が中止になったり延期になったりというストレスもあると思うので、それに対して自分たちがどういうふう感じたかとか、そういうことを話し合える場にしたほうが建設的だと思う。(委員)

○専門家に固い印象があると、高校生がうまく議論に入れられないのではないかと思う。テーマや専門家を少し変えることによって内容を変えてはどうか。(委員)

○ワクチンを打った証明のバッジがあるが、ワクチンを打てない人からすると、バッジを見ると後ろ

めたさを感じると聞いた。そういったことについても話し合いたい。(委員)

事務局説明：(2) その他

●事務局から今後のスケジュール等について説明

⇒意見なし